

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社ミクシ 上場取引所 東
 コード番号 2121 URL https://mixi.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 弘毅
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員 CFO (氏名) 大澤 弘之 (TEL) 03-6897-9500
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	46,835	△34.1	4,035	△80.5	4,063	△80.5	2,192	△83.0
2019年3月期第2四半期	71,044	△23.8	20,723	△43.9	20,787	△44.0	12,924	△48.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,014百万円(△85.0%) 2019年3月期第2四半期 13,465百万円(△46.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	29.09	28.91
2019年3月期第2四半期	169.87	169.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	188,135	176,890	93.5
2019年3月期	192,068	178,990	92.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 175,926百万円 2019年3月期 178,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2020年3月期	—	55.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	△30.6	5,000	△87.8	5,000	△87.8	3,000	△88.7	39.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	78,230,850株	2019年3月期	78,230,850株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,881,300株	2019年3月期	2,881,300株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	75,349,550株	2019年3月期2Q	76,085,790株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらを業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2019年11月8日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	71,044	46,835	△34.1%
営業利益(百万円)	20,723	4,035	△80.5%
経常利益(百万円)	20,787	4,063	△80.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	12,924	2,192	△83.0%

当第2四半期連結累計期間の売上高は46,835百万円(前年同四半期比34.1%減)となりました。また、営業利益は4,035百万円(前年同四半期比80.5%減)、経常利益は4,063百万円(前年同四半期比80.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,192百万円(前年同四半期比83.0%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、事業セグメントの利益の測定方法は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値(EBITDA)としております。

① エンターテインメント事業

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	68,045	45,138	△33.7%
セグメント利益(百万円)	25,421	9,724	△61.7%

エンターテインメント事業は、スマートフォンネイティブゲーム「モンスターストライク」を主力として収益を上げる一方で、スポーツ領域での事業成長を目指し先行投資を行っております。「モンスターストライク」は、他社IPや異業種とのコラボレーション、「XFLAG PARK」などのイベントや関連グッズの製作、オリジナルアニメの配信や劇場版公開など、IPを活用した事業も運営しております。前年同期と比較してARPUが低下したことにより売上高は減少しておりますが、ゲーム利用者数は2019年10月には全世界で5,200万人を突破するなど拡大を続けており、モンスターストライクのIPを活用した新規ゲームの開発等を積極的に進めております。

スポーツ領域においては、プロスポーツチーム経営、公営競技関連事業への投資を行っております。プロスポーツチーム経営については、2019年10月に株式会社千葉ジェッツふなばしを子会社化しております。公営競技関連事業につきましては、2019年2月にインターネットで競輪およびオートレースに投票するサービス「チャリロト.com」を提供する株式会社チャリ・ロトの全株式を取得し、共同で新たなサービスの開発を進めております。

この結果、当事業の売上高は45,138百万円(前年同四半期比33.7%減)、セグメント利益は9,724百万円(前年同四半期比61.7%減)となりました。

② ライフスタイル事業

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	3,000	1,697	△43.4%
セグメント損失(△)(百万円)	△815	△439	－%

ライフスタイル事業では、SNS「mixi」、家族向け写真・動画共有アプリ「家族アルバム みてね」、サロンスタッフ直接予約アプリ「minimo」を中心に各種サービスを運営しております。「家族アルバム みてね」は、2019年6月には利用者が500万人を突破するなど、2015年4月にサービス開始して以来、継続的に利用者数を伸ばしております。同アプリでは、2019年4月に機能を充実させた月額課金制のプレミアムサービスを開始するなど、マネタイズの強化を行っております。2019年10月には子会社化した株式会社スフィダンの持つノウハウを活かした「みてね年賀状」の提供を開始しております。前年同期と比較して、前期の株式会社Diverseの全株式譲渡等の影響により売上高が減少しております。

この結果、当事業の売上高は1,697百万円(前年同四半期比43.4%減)、セグメント損失は439百万円(前年同四半期はセグメント損失815百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第2四半期連結会計期間の財政状態は、資産については流動資産が155,671百万円（前連結会計年度末比5,153百万円減少）となり、主な要因としては、未払金の支払による現金及び預金の減少、並びにその他流動資産の減少があげられます。固定資産は32,464百万円（前連結会計年度末比1,220百万円増加）となり、主な要因としては、子会社の新規取得によるのれんの増加があげられます。

負債については、流動負債が10,314百万円（前連結会計年度末比2,133百万円減少）となり、主な要因としては、未払金の減少があげられます。純資産は176,890百万円（前連結会計年度末比2,100百万円減少）となり、主な要因としては、利益剰余金の減少があげられます。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べて1,724百万円減少し、142,693百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は8,537百万円（前年同四半期は7,150百万円の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払による減少1,077百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益が3,978百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は5,702百万円（前年同四半期は1,347百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産及び投資有価証券の取得による支出3,172百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は4,546百万円（前年同四半期は14,087百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額4,520百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきまして、現時点においては計画通りに進んでおり、2019年5月10日に公表した予想を据え置いております。今後予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	144,417	142,693
売掛金	9,402	9,037
商品	297	206
その他	6,733	3,763
貸倒引当金	△27	△30
流動資産合計	160,824	155,671
固定資産		
有形固定資産	4,109	4,959
無形固定資産		
のれん	5,121	7,408
その他	766	924
無形固定資産合計	5,887	8,332
投資その他の資産		
投資有価証券	6,688	7,933
繰延税金資産	9,426	6,119
その他	5,132	5,120
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	21,246	19,172
固定資産合計	31,243	32,464
資産合計	192,068	188,135
負債の部		
流動負債		
未払金	8,298	6,013
未払法人税等	504	714
賞与引当金	837	614
その他	2,808	2,971
流動負債合計	12,448	10,314
固定負債		
その他	628	930
固定負債合計	628	930
負債合計	13,077	11,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,698	9,698
資本剰余金	9,668	9,668
利益剰余金	169,069	166,740
自己株式	△10,905	△10,905
株主資本合計	177,531	175,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	665	513
為替換算調整勘定	234	210
その他の包括利益累計額合計	900	723
新株予約権	555	946
非支配株主持分	3	17
純資産合計	178,990	176,890
負債純資産合計	192,068	188,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	71,044	46,835
売上原価	9,429	9,738
売上総利益	61,615	37,096
販売費及び一般管理費	40,892	33,061
営業利益	20,723	4,035
営業外収益		
受取利息	2	0
為替差益	15	9
投資事業組合運用益	98	—
その他	62	288
営業外収益合計	179	298
営業外費用		
支払利息	0	3
投資事業組合運用損	—	222
支払手数料	111	—
その他	3	43
営業外費用合計	115	269
経常利益	20,787	4,063
特別利益		
固定資産売却益	—	3
投資有価証券売却益	67	—
関係会社株式売却益	356	—
特別利益合計	423	3
特別損失		
事業撤退損	2,018	—
固定資産除売却損	6	19
減損損失	—	69
投資有価証券評価損	124	—
特別損失合計	2,149	88
税金等調整前四半期純利益	19,062	3,978
法人税、住民税及び事業税	5,907	1,250
法人税等調整額	230	536
法人税等合計	6,137	1,786
四半期純利益	12,924	2,191
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,924	2,192

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	12,924	2,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	520	△152
為替換算調整勘定	20	△24
その他の包括利益合計	541	△176
四半期包括利益	13,465	2,014
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,465	2,015
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,062	3,978
減価償却費	474	576
減損損失	—	69
のれん償却額	—	309
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△93	△222
受取利息	△2	△0
支払利息	0	3
為替差損益(△は益)	△14	6
支払手数料	111	—
投資事業組合運用損益(△は益)	△98	222
固定資産除売却損益(△は益)	6	16
たな卸資産の増減額(△は増加)	250	104
投資有価証券売却損益(△は益)	△67	—
投資有価証券評価損益(△は益)	124	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△356	—
事業撤退損	312	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,543	375
未払金の増減額(△は減少)	1,178	△2,385
未払消費税等の増減額(△は減少)	△95	—
その他	△1,597	6,553
小計	16,651	9,611
利息の受取額	1	5
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△9,502	△1,077
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,150	8,537
投資活動によるキャッシュ・フロー		
事業譲受による支出	—	△1,030
有形固定資産の取得による支出	△625	△1,316
無形固定資産の取得による支出	△136	△82
投資有価証券の取得による支出	△944	△1,856
投資有価証券の売却による収入	75	—
投資有価証券の分配による収入	238	152
差入保証金の差入による支出	△5	△113
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,469
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	49	—
その他	0	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,347	△5,702
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△33
自己株式の処分による収入	0	—
長期借入金の返済による支出	—	△6
自己株式の取得による支出	△10,111	—
配当金の支払額	△3,974	△4,520
その他	△0	15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,087	△4,546
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	△13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,269	△1,724
現金及び現金同等物の期首残高	156,190	144,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	147,921	142,693

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	68,044	3,000	71,044	—	71,044
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	△0	—
計	68,045	3,000	71,045	△0	71,044
セグメント利益又は損失(△)	25,421	△815	24,606	△3,882	20,723
その他の項目					
減価償却費	202	4	206	267	474
のれん償却額	—	—	—	—	—

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,882百万円には、報告セグメントの減価償却費△206百万円並びに各セグメントに配分していない全社費用△3,675百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	45,137	1,697	46,835	—	46,835
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	△0	—
計	45,138	1,697	46,836	△0	46,835
セグメント利益又は損失(△)	9,724	△439	9,285	△5,250	4,035
その他の項目					
減価償却費	270	20	291	285	576
のれん償却額	262	47	309	—	309

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△5,250百万円には、報告セグメントの減価償却費△291百万円並びに各セグメントに配分していない全社費用△4,958百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が低いため省略しております。